

平成18年度県立常北高等学校自己評価表

目指す学校像	<ul style="list-style-type: none"> ・校訓の「至誠、勤勉、協和」の精神を徹底させ、心身ともに調和のとれた人格の形成を図るとともに、責任感と積極性を持った、自立した社会人を育成する。 ・生徒一人一人の夢を実現させる学校づくりを目指す。 				
組織目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 生徒一人ひとりを大切にしたい、きめ細かな生徒指導・進路指導に努める 2 自主性・自立性を育む特別活動の積極的な支援を図る 3 学校・家庭・地域等との連携・協同による教育活動の推進 				
昨年度の成果と課題		重点項目	重点目標	達成状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・校内巡視の実施により、生徒指導事故が大幅に減少した。遅刻者退学者も減少している。 ・きめこまかな指導の実施により、卒業時の進路決定が向上した。 ・自己実現のための学力が不足している。 		基本的生活習慣の確立	<ul style="list-style-type: none"> ・欠席、遅刻、早退を減少させる。同様に欠席者・早退者も減少させる。 ・規範意識の確立を図り、「制服をきちんと着よう」、「校則を守ろう」「社会のルールを守ろう」を徹底させる。 	A	
		基礎学力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎力テストを充実し、基本的・基礎的な学力の確かな定着を図る。 ・少人数学習を充実し、基礎学力の向上を図る。 	B	
		進路指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・早めの進路選択を図り、自己実現に向けた努力をさせる。 ・キャリアガイダンスを充実させ就職内定率、進学達成率の向上を図る。 	A	
		特別活動の活発化	<ul style="list-style-type: none"> ・LHR、学校行事等での生徒の活動を活発化させ、生徒達による、自主的・自立的な活動を促す。 ・国際理解教育推進の一環として、サイパン、カグマン高校との交流を図る。 	B	
評価項目	具体的目標	具体的方策		評価	次年度(学期)への主な課題
教科指導	解る授業の展開を図る。	シラバスの作成と、授業目標に沿う授業計画を立案する。		A	個々の生徒に対応した達成目標の設定。
		授業終了後に指導内容を検討し、次時への授業改善に生かす。		B	
教 育	国語	基礎的な国語力をつける	漢字力・語彙力を反復練習により身につける。	A	A 漢検合格者数の増加。基礎学力の向上。
		読書への興味を持ち積極的に読書をする習慣を身につける。	語彙力を身につけ、読書をするおもしろさ、を体験し自ら本を選択し読む習慣が持てるようにする。	B	
	地歴公民	作文の基本的なルールを身につけ自分の考えを正しく表現できるようにする。	作文用紙の使い方。文章を書く上での基本的な語句、表現上の注意を身につけ自分の考えや意見を的確に表現できる技術を身につける。	A	
		基礎的な事項の理解の徹底をはかる。	1年から地図帳を持たせ、2年・3年でも常に参照させて日本や世界の地名に親しませ、そこで起こった歴史的出来事等に関心をむかせる。	A	
教 育	現代の社会の特徴や問題に興味・関心をもち、その解決への主体的取り組みを促す。	現代社会の様々な現象・問題についての新聞記事を読ませたりビデオを視聴させて、感想文を書かせる。それを発表し、解決策などについてみんなで話し合う。	A	A 就職・進学両面で対応できるより一層の学力充実をはかりたい。	

数学	基礎・基本の充実	四則計算を中心とした基本的な計算練習を継続的に行なう。	A	A	基礎・基本の指導の充実
	生徒個々の能力に応じた指導	少人数学習とティームティーチングを組み合わせることで生徒個々の現状に応じた指導を展開する。	A		
	情報を活用する実践力を養う	マルチメディアやインターネットを活用した実践力や、情報の収集・発信を通しての問題解決力の向上を図る指導を展開する。	A		
情報	情報社会に参加する上での望ましい態度の育成	著作権や情報モラル等の情報倫理を身につける為の指導を展開する。	B	A	情報モラル・著作権等の倫理を身につけさせる
理科	生徒の興味関心を引き出す授業	教科書の内容のみにとどまらずに、最新の自然科学に関する情報を取り入れて、生徒が興味・関心を持つような授業を行う。また、興味・関心のある内容をインターネットなどで自分で調べ、発表を行う。	A	A	実験等を通し基礎学力の向上を目指す。科学に対する興味・関心を持たせる。
	基本的な内容の徹底	図表などを用いて、視覚的に内容を理解させる。また、小テストを行い、内容の定着を図る。	A		
	実験の充実	各科目、年間5回以上の実験を行い、内容理解の助けとする。また、実験の基本的操作を身に付ける。	A		
保健体育	健康の保持増進のための実践力の育成	体育・保健の授業を通して、健康・安全の課題に直面した場合に、科学的な思考と正しい判断に基づく意思決定や行動選択を行い、適切に実践できるような資質や能力の基礎を養い、実践力の育成を目指す。	B	A	健康と運動・食事・休養の関わりを理解し、実践できるようにすること
	体力の向上を図る	新体力テストの結果を参考に、継続した補強運動を行い、体力を高める。	A		
	応急処置法を身につける	心肺蘇生法（人形を使っての実践）・RICE等様々な応急処置法を身につける。	A		
音楽	曲種にあった発声の習得と歌唱に対する意欲を育成する。	・呼吸法、口形など発声の基本を学習し、曲種に応じた発声を工夫させる。あわせて、歌うことの楽しさを感じ取らせる。	A	A	歌唱や器楽の基礎・基本を身につけさせてさらに充実した音楽活動ができるようにする。鑑賞指導の充実。
	リコーダーとギターの基本的な奏法を習得させる。	・リコーダーの奏法と基本的な運指を練習させる。 ・ギターの基本的な奏法とコードネームの理解をさせる。	A		
	世界の音楽や我が国の伝統音楽について理解する	・さまざまな鑑賞を通して、楽曲の構造や、音楽の歴史的・文化的背景を理解させる。 ・我が国の伝統音楽の文化的背景を学習させる。	B		
英語	基本的な英語力の定着	基本的な単語の書き取りの練習を継続的に行うことで定着させる。	A	A	基礎学力の定着
	音声指導の徹底	少人数やティームティーチングで授業を行うことにより、音声面の指導を徹底させ、達成感を持たせる。	A		
	外国への興味・関心を深める授業	サイパン カグマン高校との交換留学をきっかけに、外国への興味・関心を深め、コミュニケーション能力の向上をはかる。	A		
家庭	基礎的・基本的な技術の習得	実験・実習を通して、調理や被服製作の基礎的・基本的技術を身につける。	A	A	実験・実習前学習の徹底
	検定の実施	食物技術検定合格を通して、知識技術を習得し、合格を目指す。	B		

商業	計算能力を身につける	基礎的な計算練習を反復して行う。	A	A	検定試験の合格を目指した指導
	ソフトウェア利用の技術を身につける	ワープロソフト、表計算ソフトの利用方法を練習問題を通して学習する。	A		
教務	授業時間の確保	出張、年休の場合は振り替えを行う。	A	A	成績処理ソフトの導入。
	学年、係りとの連携	学年、部との連携の強化。	A		
	校内研修の充実	考査期間中に研修を設ける。	A		
	ネットワークの管理	成績処理ソフトの導入。ネットワークを含むパソコン環境の管理・運用・整備を進める。	B		
特別活動	ボランティア活動の充実	城里町社会福祉協議会との連携を図る。（高校生会への参加を呼びかける）	B	A	春園祭の準備を早めにおこなう。
	部活動の充実	部加入率の増加を図る。（体験入部を実施する）	B		
	ツールド常北の実施	交通安全指導の充実。 PTAとの連携。	A		
	クラスマッチ	クラスマッチの充実。	A		
	体育祭の実施	体育祭の充実。	A		
生徒指導	喫煙防止	校外巡視。 校内巡視（毎休み時間）。	A	A	・禁煙指導の継続 ・バイク実技指導で安全運転を促す。 ・地元との連携強化を図る。（特に地元小中学校との協力体制作り）
	生徒指導事故防止	校外巡視。 校内巡視（毎休み時間）。	A		
	交通安全教育	交通安全講話・バイク実技指導。 バイク安全点検。	B		
	基本的生活習慣の育成	立哨指導による頭髪・服装指導。	A		
進路指導	進路意識の喚起を行う	進路の講演会・説明会・マナー教室などと学級会を通して、進路意識の喚起につとめる。	A	A	さらにインターンシップ受入企業の開拓に力を入れる。
	基礎力テストの充実を図る	基礎力テストの方法、内容の改善を行い、生徒の基礎力の向上を図る。	A		
	進路の面接を実施し、指導する	進学希望者、就職希望者の全員に模擬面接を実施をして、面接力を向上させる。	A		
	インターンシップの実施	2年次でのインターンシップを充実したものとする。	B		
保健厚生	学校保健の年間計画を立てる	健康診断の事後措置や日々の保健指導を通じ、健康についての自己管理の意識を高める。 外部講師による講演会等における保健指導を行う事により、性教育の充実を図る。 保健委員会の積極的な活動についての指導・助言を行う。	B	A	・健康についての自己管理の意識を高められるよう積極的にはたらきかける。 ・保健委員会の活動内容について検討する。
	健康で安全な学校環境の整備・美化に努める	ゴミの分別等について啓発活動を行い、意識の高揚を図るとともに、環境美化に努める。	A		
		施設設備の安全点検を行い、安全管理に努めると共に、安全についての意識を高める。	A		
		美化委員会の積極的な活動についての指導・助言を行う。	A		
	防災計画を立案し、防災教育を推進する	防災組織を編成し防災訓練等を実施する事により、非常時に適切な行動がとれるようにする。	A		
	奨学生募集についてのPR活動を積極的に行う。	募集について随時担任と連絡を取り合い、多くの生徒が活用できるよう積極的に呼びかける。	A		
	問題行動や悩みについての相談活動を行う	担任と連絡を取り合い早期発見に努め、必要に応じて学校医や専門機関へ紹介する。	A		

渉外	P T A 活動の活性化	P T A 行事の出席率を高めるため、出席しやすい日程・時間などの環境を整える。 支部活動を活発化させるため、各支部との連絡を密にとり、行事の充実をはかる方策を考える。	A	A	春園祭にむけて、P T A 活動を推進したい。
	あいさつ励行の協力	P T A 支部会などの会合を通して、生徒のあいさつがよくなるように、保護者にも協力を得る。	A		
3 学年	進路指導の徹底	面談・進路ガイダンスをきめ細やかに行うことにより、生徒個々の適性・能力に合った進路を早期に決定する。また小論文指導、面接指導も学年全体で行い進学・就職両面で指導の徹底を図る。	A		
	基礎学力の向上	毎日朝のSHR時を利用して漢字練習テスト、計算力テスト等を実施することにより、基礎学力の向上を図る。	A		
	基本的生活習慣の確立	遅刻カードの利用により、遅刻防止や時間厳守の態度を身につけさせる。早朝の立哨指導を行い、挨拶の励行ときちんとした服装の着用を促す。	A		
	豊かな心の育成	外部講師を招き年6回朗読会を行うことにより、楽しく日本の名作文学に触れことにより、豊かな感性を養う。またマナー講習会講習会を2回行うことにより他人に対する思いやりの心や礼儀作法の大切さを学ばせる。	A		
2 学年	進路を意識させ、基礎学力の向上を図る	担任による面談や進路情報伝達を適切に実施しながら、生徒の進路希望を具体化させ、資格取得を目標に学習意欲を高める。また授業を大切にしている指導を行う。	A	A	・「基礎学力の向上」と「高校生としてふさわしい身なり態度の育成」は、継続して指導していきたい。 ・基本的な生活習慣を徹底させるとともに、就職・進学先の決定に向けて奮起を促し、全員が進路決定できるよう進路指導部と連携を図りながら指導していきたい。
	高校生としてふさわしい身なり、態度の育成を図る	遅刻カードの利用により、遅刻防止や時間厳守の態度を身につけさせる。早朝の立哨指導を行い、挨拶の励行ときちんとした服装の着用を促すとともに、学年集会でマナーの大切さを理解させる。	A		
	修学旅行の意識づけを十分にしている有意義なものにする	LHRや学年集会で事前学習を十分にさせる。 修学旅行の感想をまとめる。	A		
1 学年	学習の意欲を喚起し、基礎学力の向上を図る	毎時間の授業を大切に、進路を見据えた学習をさせる。	A	A	自分にあった進路の選択をさせる。その目標に向かって努力させる。
	基本的生活習慣の確立を図り、高校生活に意欲を持たせる	遅刻防止や時間厳守の基本的生活習慣の確立を図る。 放課後の使い方を有効にする指導を行う。（部活動や課外に積極的に参加させるなど） また、クラスや学年の行事を工夫したり、ボランティア活動に興味を持たせる。	B		
	生徒の実態を把握し、将来を考えさせる進路指導をする	H R や総合学習の時間を使い、進路意識を高める。 資格取得の機会を与え、意欲的に取り組ませる。	A		

※評価基準： A = 良く達成できた。 B = まあまあ達成できた。 C = 不十分である。